

mini news

▼マスターズ花園
 関西勢OBチームが出場！
 関西勢OBチームが出場！
 さあ、もう一歩花園へ。
 ラグビーの聖地・花園ラグビー
 場を舞台に、高校ラグビーOB
 チームが熱い戦いを広げるマ
 スターズ世代の交流大会「マス
 ターズ花園」が10月8日から10
 日まで、花園ラグビー場で開催
 された。

近畿連盟代表として関西（せ
 ぞ）連盟所属の高校ラグビー連
 のOBチームが、マスターズ花
 園に出場した。

関西OBチームの出場目的
 は、「コロナの影響で全関西に苦
 しい現役チームを応援しついで
 というもの。現役チームの
 陣に入る赤十字が意味する勇
 熱・友情・希望＆勇氣」をテ
 マに、①大会前は保健なくラ
 グビーを楽しみ、シニア世代で
 も変わらないラグビーへの「情
 熱」を現役チームにも伝える。
 ②コロナ禍を乗り越え、再び世
 代を超えたOB・OGの繋がりを
 確かめ、取り戻す『友情』の
 貴さを現役チームに伝える。③
 現役生や保護者、受験生を含む
 未来のZRFC関係者らに向け、大会参加をテレビ放送等を
 通じ、現役チームの部員増への
 呼びかけやアピールに繋げる『希望
 &勇氣』を現役チームに伝える。
 そんな目標を掲げ、現役チーム
 ZFC・OBチームを母体として、頑
 強な思いで取り組んできた。

大会に集まったOB選手は、
 ZRFC一期生1951年生まで
 ある高橋勲・奥田哲弘さん(91歳)
 を筆頭に総勢54名。9月3日か
 らの毎週末、母校クラウンドを



総勢54名が参加。花園で秋高工OBチームと戦った関西OBチーム

中心に部員に苦しむ現役チーム
 との合同練習などを重ねてき
 た。

そして10月9日、開会式を終
 えた第3試合に登壇した関西OB
 チームは、古巣、秋田工OB
 チームと対戦。関西OBチーム
 の監督は、関西が花園初出場を
 決めた当時の監督である北原晴
 彦さん(82歳)が務め、当時、
 熱心に現役生を指導していたO
 Bの川島康夫さん(73歳)もコ
 ーチとして陣地・花園のクラウ
 ンドに立った。

なお、秋田工は関西が花園初
 出場を果たした第67回全国高校
 大会の優勝校で、花園大会最多
 優勝&最多出場を誇る。奥田さ
 んが現役の頃は、秋田工は全国
 大会優勝常連校で憧れのチーム
 であり、ZRFC一回、リス

ベクトルするチームとの対戦に感
 動した。

三日、花園ラグビー場のスタ
 ンドにはOB・OGのみならず
 関西勢の現役生、現役保護者な
 ど約400名が応援に駆け付け、
 大きな声援を送った。

試合は秋田工OBチームに翻
 弄された関西OBチームの取組
 (0-24)と対し、関野祥介さ
 ん(1981年生)、高岡志社大
 &新日鐵釜石(主将)らの活躍で、
 何度もゴールラインに押しスタ
 ンドを盛り上げた。

事務局長代表者兼選手としてO
 Bチームを牽引した村上正三さ
 ん(49歳)は、「出場の目的に掲
 げた、現役チームの部員増に
 繋がることを願いながら、自分
 自身も秋田工さんとの対戦を大
 いに楽しませてもらった」と語
 った。また、アプタイマツチフ
 アンクションでは、同校関係者
 も含めた約150名が、ラグビ
 ーの魅力であるノースタイルの精
 神で互いの健闘を称え合い、奥
 田さんの一本締めでお開きとな

った。

関西OBチームはその後、場
 所を京都タワーのピアガーデン
 に移して乾杯。ラグビー談義に
 花を咲かせつつ、このマスター
 ス花園2022大会を盛り上げ、情
 熱・友情・希望＆勇氣、そして
 ラグビーの魅力を改めて確かめ
 合った。

ZRFC・OBで、日本経済新聞社記者の谷口誠さんがラグビーマガジンにて「コラム EYE & MAKOTO (アイトマコト)」を連載中。同号、第5回目の連載にて、『「マスターズ」が開く扉。』と題した記事の中で、今回のマスターズ花園2022への母校参加についても触れられております。是非、ラグマガを手にとって御覧ください！



谷口誠 (NIKKEI) MakotoTaniguchi 
@MktTaniguchi

昨日発売の #ラグビーマガジン 12月号に、コラムを寄稿させていただきました。今年創設された高校OBの大会 #マスタース花園 について書いています。既存の大会にない温かい雰囲気や、選手同士の交流があり、大きく成長していきそうな可能性を感じました。



返信をツイート

